

会議録

会議の名称	令和5年度第5回西東京市地域福祉策定・普及推進委員会
開催日時	令和5年11月1日(水) 19時00分～20時00分
開催場所	田無庁舎5階 502・503 会議室
出席者	熊田委員(委員長)      島崎委員      中岡委員 篠宮委員      山崎委員 小口委員      新野委員 南委員      佐藤委員
欠席者	伊藤委員(副委員長)、坂根委員、米本委員
議題	(1)前回議事録について (2)次期地域福祉計画素案(たたき台) (3)について (3)その他
会議資料の名称	次第 ○前回議事録 ○資料1 計画素案(たたき台)(3) ○資料2 第5期西東京市地域福祉計画策定スケジュール(令和5年度)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

■開会

傍聴希望者 なし。  
 事務局から、配付資料の確認。

■議題(1)前回議事録について

事務局から説明。

【主な意見】

○委員

- 『P82(第7章)。市民後見人の養成の記載に、専門職等も追加して欲しい。』を、『市民後見人の受任調整の記載に、専門職等も追加して欲しい。』という主旨であったため、訂正して欲しい。

■議題(2)次期地域福祉計画素案(たたき台)(3)について

事務局から、資料1【次期地域福祉計画素案(たたき台)(2)】を説明。

【主な意見】

○委員

- 1 西東京市版地域共生社会とは、の項が全体的に分かりやすくなった。
- P18。所管課に電話番号を入れると、市民が読んだ時に役立つものとなる。

○委員長

- 市民がアクセスしやすくすることは大切なこと。一方で、計画期間中に、所管課や電話番号が変わる可能性もないとは言えない。

●事務局

- 計画書ではなく、HP や広報等で、適宜、情報を提供していきたい。

○委員

- 1 西東京市版地域共生社会とは、の項が全体的に分かりやすくなった。
- P14、15。国が地域共生社会を進める背景は「人口減少社会」だが、西東京市はまだ人口減少ではない。西東京市版地域共生社会を進める背景の文章に P2 の課題等を追加すると、さらに分かりやすくなる。

○委員長

- 西東京市では高齢者の増加等の人口変動も背景にある。国とはやや異なる地域共生社会を目指すことになる。

●事務局

- P15 の背景の文章を検討する。

○委員

- 1 西東京市版地域共生社会とは、の項が全体的に分かりやすくなった。
- P19。社協事業であるふれまちサポーター等の表現は現状に合わない部分もあるため、社協から改めて提示する。
- P15。西東京市版地域共生社会のリード文は、端的に「西東京市版地域共生社会はこうです。」とすると、さらに分かりやすくなる。

○委員

- 1 西東京市版地域共生社会とは、の項が全体的に読みやすくなった。
- 小さい文字が読みづらい。できるだけ、読みやすくなるといい。

○委員長

- 文字の大きさ等、ユニバーサルデザインにも配慮して、さらに読みやすくしてほしい。
- P18。重層的支援体制整備事業の3つの区分の説明を入れるといい。重層的支援体制整備事業は分かりづらい仕組みであるので、図を分かりやすくしてもいい。

●事務局

- 読みやすさという視点でさらに検討する。

○委員

- P16とP17の順を変えた方が分かりやすくなる。

○委員

- P16。タイトルは「地域共生社会の位置付け」であり、内容は地域包括ケアシステムになっている。

○委員長

- 次回、現案と、P16とP17の順を変えた案を比較して決定したい。
- 地域共生社会と地域包括ケアシステムのどちらを上位概念とするか、であろう。

●事務局

- 地域共生社会が全世代型であり、上位概念となる。誤解を生じないように検討する。

○委員

- 1 西東京市版地域共生社会とは、の項が全体的に分かりやすくなった。
- P14、15。国と西東京市と対比した形であるが、その違いを明確にするとさらに分かりやすくなる。

●事務局

- 地域共生社会の考え方に違いはないが、つながりづくりの必要性等、西東京市版地域共生社会の背景の文章を検討する。

○委員

- 1 西東京市版地域共生社会とは、の項が全体的に分かりやすくなった。

○委員

- P14. 国の出典の「一人ひとり」と「ひとり一人」の表記が混在している。また、他のページには「一人一人」という表記もある。

●事務局

- 国の表記ではあるが、可能な範囲で、計画全体での表記を統一する。

○委員

- P17. 圏域の図に P19 のネットワークの要素が入ると、西東京市の特色がでる。

○委員

- P15. 国は方向性だが、西東京市版地域共生社会は取組を含めたものとなっている。

●事務局

- ネットワークの要素、西東京市版地域共生社会のリード文を検討する。

○委員

- P17. 身近な地域が何を指すのか分かりづらい。

○委員長

- 身近な地域の例示を記載できるといい。

●事務局

- 小学校区よりさらに小さな単位を想定している。例示掲載を検討する。

○委員

- P19. 「地域の福祉相談窓口(準備中)」の(準備中)はこのまま残るのか。

○委員

- 社協の取組である「地域の福祉相談窓口」は実施しているので、(準備中)は削除できる。
- P17. 小学校区の「自治会・町内会等の活動支援」だけ「支援」となっている。

○委員

- P16. 「団塊の世代」という括り方に否定的な人もいる。「団塊の世代」の方々、として、柔らかい表現にしてはどうか。

○委員長

- 「支援」は「展開」でもいい。
- 「団塊の世代」の方々、としたい。
- P16。(参考)西東京市版地域共生社会の主な歩みが、平成22年度から平成30年度の間に関入るといい。

●事務局

- それぞれの意見を踏まえて検討する。

○委員長

- 各委員の意見を総括すると、概ね分かりやすくなったということであるので、この案をベースに進めることとしたい。

■議題(3)その他

事務局から、次回会議日程等の案内

■閉会